

# 数学・数理科学専攻のための 異分野・異業種研究交流会2018 報告

理数系人材の産業界での活躍に向けた意見交換会（第3回） 資料

平成30年12月14日（金）

# 交流会概要

• 参加者数 **226名**

内訳

- 企業参加者 91名
- ポスター発表者 62名
- 一般参加学生 31名
- 一般参加者・関係者 42名  
(含、マスコミ関係)

参考 (2015年状況)

- 参加者数 **159名**  
内訳
  - 企業参加者 65名
  - ポスター発表 43名
  - 若手数学研究者 22名
  - 一般参加者・関係者 29名  
(含、マスコミ関係)



(会場風景)

主催 日本数学会

共催 文部科学省  
日本応用数理学会  
東京大学数物フロンティア・リーディング大学院  
明治大学先端数理科学インスティテュート  
明治大学先端数理科学研究科  
文部科学省委託事業「数学アドバンストイノベーションプラットフォーム (AiMaP)」

後援 日本経済団体連合会



小藺英雄氏 (日本数学会理事長)



佐古和恵氏 (日本応用数理学会会長)



長谷川知子氏 (経団連SDGs本部長)



岸本哲哉氏  
(文部科学省研究振興局基礎振興課長)

# プログラム

第1部 10:00-11:00  
開会挨拶、来賓挨拶  
基調講演  
田島玲氏 (Yahoo Japan)

第2部  
11:00-12:00  
協力企業紹介 (1)  
12:00-13:00  
リクルートセミナー (学生のみ)  
13:00-14:00  
協力企業紹介 (2)  
14:15-16:00  
若手研究者によるポスター展示  
16:00-18:00  
個別交流会

第3部 18:30-20:00  
情報交換会 (会費制)  
ベストポスター表彰



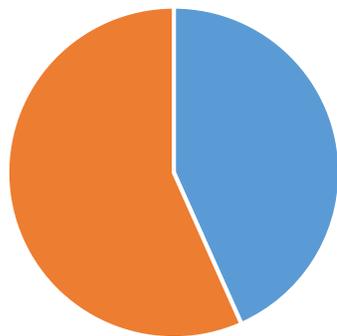
基調講演

企業紹介 (一部)  
3分間のプレゼン

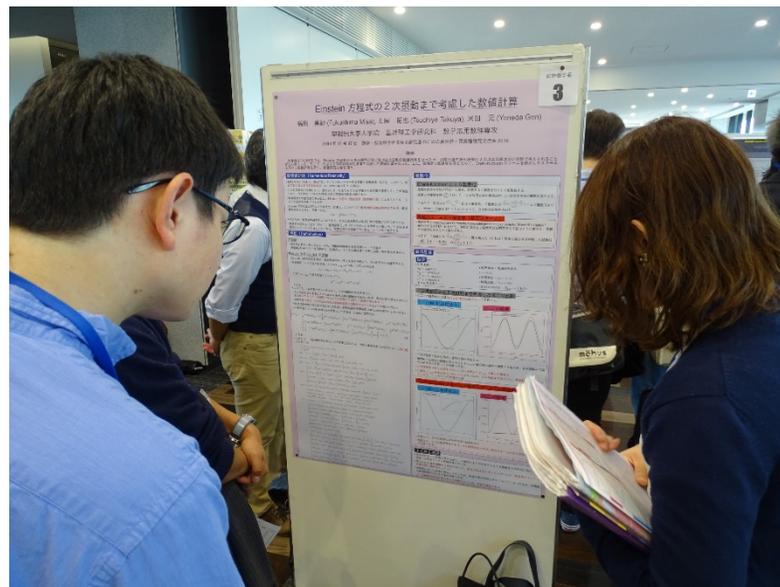


# ポスタースタセッション

ポスター発表者割合



■ 純粋数学 ■ 応用数学



## 発表分野 (純粋数学26件、応用数学34件)

### ベストポスター発表表彰

- 1 高井 勇輝 (理化学研究所革新知能統合研究センター/慶応義塾大学工学部数理科学科 特別研究員)
- 2 AKSHAY GOEL アクシャイ ゴエル Graduate School of Mathematics, Kyushu University PhD Student (3rd year)
- 3 早瀬 友裕 (東京大学大学院数理科学研究科博士後期課程3年)
- 4 白川 匠 (埼玉大学大学院理工学研究科理工学専攻博士後期課程1年)
- 5 本多 俊一 (北海道大学大学院理学研究院学術研究員)
- 6 伊藤 龍之介 (早稲田大学大学院 基幹理工学研究科数学応用数理専攻修士課程2年)
- 7 秦 希望 (九州大学大学院数理学府博士後期課程1年)
- 8 齋藤 耕太 (名古屋大学多元数理科学研究科博士前期課程2年)
- 9 笹井 悠平 (明治大学大学院現象数理学専攻博士前期課程1年)
- 10 中山 優吾 (筑波大学数理物質科学研究科 博士後期課程2年)



# 個別交流会

参加企業 38社  
(含、オブザーバー企業 4社)

参加企業・研究所の分布



■ 製造業 ■ 金融・保険 ■ IT系 ■ その他



# 日本数学会社会連携協議会

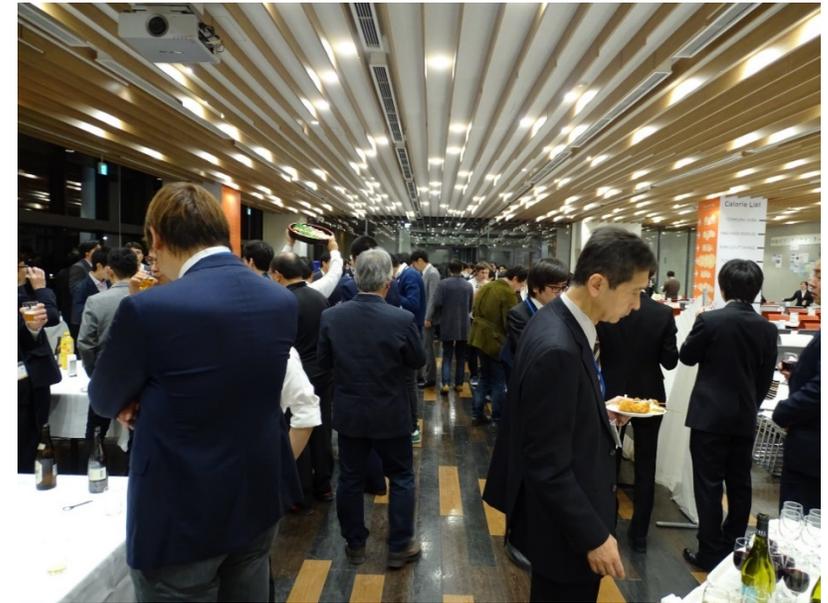
## 平成29年度日本数学会社会連携協議会委員名簿

### 1. 産業界関係者（敬称略）

会長 中村雅信（株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ取締役）  
顧問 高田章（元旭硝子株式会社中央研究所特任研究員、ロンドン大学客員教授）  
青沼君明（株式会社三菱東京UFJ銀行チーフクオンツ、明治大学教授）  
岡澤健介（新日鐵住金株式会社数理科学研究部）  
大畠明（元トヨタ自動車、上智大学客員研究員）

### 2. 日本数学会関係者（敬称略）

副会長 坪井俊（東京大学大学院数理科学研究科教授）  
幹事 前田吉昭（東北大学特任教授・慶應義塾大学名誉教授）  
会田茂樹（東京大学大学院数理科学研究科教授・日本数学会理事）  
阿原一志（明治大学総合数理学部教授）  
荻原哲平（統計数理研究所助教）  
加藤 周（京都大学大学院理学研究科准教授）  
小藪英雄（早稲田大学理工学術院教授・日本数学会理事長）  
小谷元子（東北大学理学研究科教授・日本数学会理事）  
齊藤 宣一（東京大学大学院数理科学研究科教授）（新任）  
土谷 隆（政策研究大学院大学教授）（日本応用数理学会）  
深澤正彰（大阪大学大学院基礎工学研究科教授）  
溝口佳寛（九州大学マス・フォア・インダストリー教授）  
宮路智行（明治大学先端数理科学インスティテュート特任講師）  
山本昌宏（東京大学大学院数理科学研究科教授）



情報交換会	
参加者総数	131名
内訳	
一般参加	89名
学生	52名

# 成果と課題

## 成果 (カッコ内の企業名は前田の独断の判断で入れています)

- 1) 研究交流会を機会として就職やインターンシップが生まれている  
(NEC、東芝、NTT中央研究所、新日鉄ソリューション等)
- 2) 企業が「数学・数理科学学生」のイメージを持てるようになった  
(コマツ、中部電力、とめ研究所)
- 3) 数学・数理系学生の採用実績のある企業が強化してきている  
(半数以上の参加企業：新日鉄住金、ニコン、三菱UFJ銀行、IBM、富士通、…)
- 4) ベンチャー企業がデータサイエンティストの採用を求めている  
(Freee、テクノスデータサイエンス・エンジニアリング、GHC、シナモン)
- 5) 数学・数理系人材の需要からの関心もたれてきている  
(アルトナー、国家公務員グループ、スローガン、産学協働イノベーション人材育成協議会)

## 課題

- 1) 企業の関心に開催側が対応しきれていない (数学学生の積極的な参加を求める)
- 2) 企業や異分野研究機関に「博士課程学生」の必要性の説明
  - ・ 企業からの質問 (なぜ博士課程修了者が必要なのか)
  - ・ 数学系の社会輩出に強い「生命保険」会社の参加が減少している
- 3) 数学・数理科学系の博士課程以外の学生に興味を持たせる
  - ・ 学部や修士課程の学生の参加 (将来のキャリアの参考にしてほしい)
  - ・ 大学教員の参加 (大学での学生指導や共同研究に役立ててほしい)
  - ・ 高校教員の参加 (学生の将来の進路に役立ててほしい)
- 4) 支援体制
  - ・ 運営体制 (マンパワー) と財政
  - ・ 数学・数理科学界からの理解と支援